

【研究課題】 アレルギー性気管支肺真菌症(ABPM)全国実態調査への参加について

【研究概要】

○目的

アレルギー性気管支肺真菌症（ABPM）は、喘息患者の気道内に腐生した真菌に対する免疫・アレルギー応答により発症する慢性疾患で、再発を繰り返し肺の線維化で呼吸不全に至る重症例も存在します。ABPMに関する調査は、海外のものがほとんどで、2013年度に本邦初のABPMの疫学・診断・治療の実態調査が行われました。本邦のABPM臨床像は海外の報告とは異なり、従来のABPM診断基準では診断困難な症例が多数存在することが確認されました。そのため、従来のABPM診断基準よりも感度・特異度の高いABPM診断基準が新たに作成されました。本研究では、新しいABPM診断基準の妥当性確認と難治症例の特徴・治療指針の作成を目的とします。

○研究期間

2020年11月10日～2021年12月31日

○対象となる方

2014年1月1日から2019年12月31日の間に、当院に通院・入院されたABPMまたはアスペルギルス感作喘息の20歳以上の患者

○研究に利用する情報

情報： 年齢、性別、生年月日、発症年月日、発症状況、症状、血液検査、治療内容、合併症、CT画像、喀痰検査、内視鏡所見等

○その他： 患者様の情報に関しましては、匿名化して取扱いますので、お名前など個人情報特定されることはありません。さらに、研究成果を学会や論文等で発表させて頂く場合は個人情報を公表することは一切ありません。

【問い合わせ先】

茨城西南医療センター病院 呼吸器内科 野村明広

電話：0280-87-8111